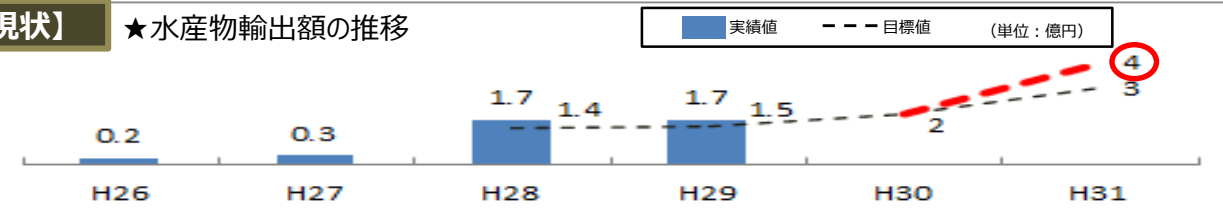


# 県産水産物の輸出の本格展開

【概要】

県産水産物の販路開拓を目指す高知県養殖魚輸出促進協議会(平成28年3月設立、漁協・水産加工会社・物流業者で構成)等と連携し、輸出の本格展開へつなげる  
 ・海外見本市等への出展や海外ニーズに合致した商品開発などに意欲のある事業者が行う活動を支援し、輸出に向けた販路開拓に取り組む  
 →H31年4月から事業目的を拡大した「高知県水産物輸出促進協議会(仮)」の立ち上げに併せ、「水産物有望案件販路開拓事業費補助金(仮)」を新設し支援  
 ・世界に通用する水産加工施設のHACCP認証取得を推進(対米、対E U向けHACCP) (※水産加工業高度化支援事業費補助金)

## 【現状】 ★水産物輸出額の推移



- 県内では産業振興計画により養殖魚の産地加工が大きく伸展(H26～)するも国内消費は縮小傾向
- 海外では、新興国の経済発展や欧米での健康志向等により水産物需要が急速に上昇傾向
- 第1ステージ(H28～H30)では、輸入規制のハードルが低い東・東南アジアから取組を開始

## 【H28～30年度の主な取組】

国・地域	H28	H29	H30
香港	現地調査	総合食品見本市FOOD EXPO2017出展	水産見本市SEAFOOD EXPO ASIA2018出展
ベトナム	-	水産見本市VIETFISH2017出展	水産見本市VIETFISH2018出展
シンガポール	○応援の店(寿司店)での高知フェア開催 ○JF神田わだつみでの高知フェア開催	○応援の店(寿司店)での高知フェア開催	総合食品見本市FHA2018出展
タイ	-	総合食品見本市THAIFEX2017出展	総合食品見本市THAIFEX2018出展
米国	-	水産見本市SEAFOOD EXPO NORTH AMERICA2018出展	水産見本市SEAFOOD EXPO NORTH AMERICA2019(予定)
中国	-	-	週1の定期便(航空便)取引開始
その他	○インド・マレーシア現地調査 ○沖縄大交易会出展	○沖縄大交易会出展	ドバイ水産見本市SEAFEX出展

## 主な成果

- 各国別に商社等の商流や、海外飲食店等との一定の販路が構築できつつある
- 取組に積極的な県内事業者の経験値もあがり、一定のノウハウが蓄積されつつある

## 課題

- 1 県産水産物の販路開拓が期待でき、かつ県内企業の要望が強い新たな市場の開拓
- 2 有望市場でのさらなる販路の拡大
- 3 海外HACCP認定取得の推進・事前の水産施設登録制度の周知、各国ニーズに合う商品開発

**輸出のボトルネック**

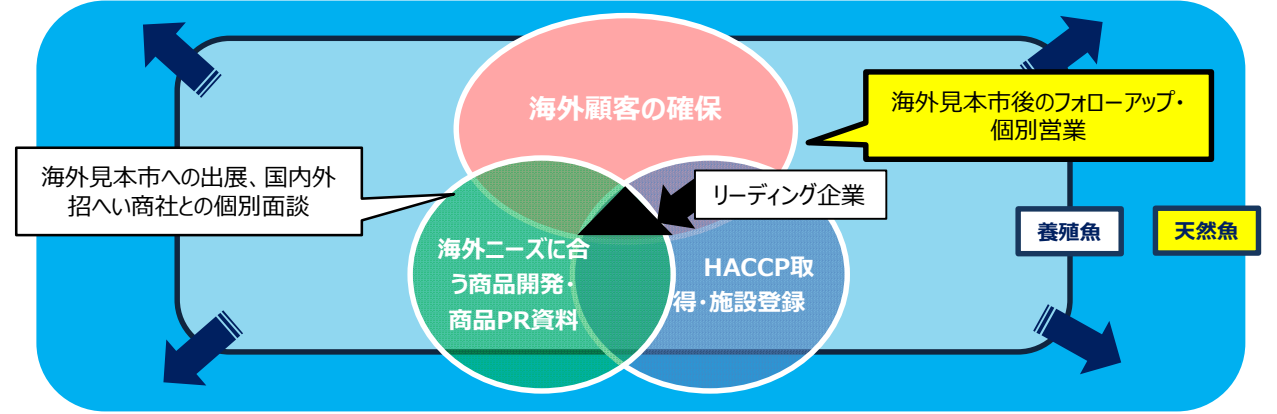
**加工用原魚の確保**  
 ・海外で需要の高い大型(7kg前後)のブリの生産が必要  
 (遊休漁場の利活用、早期採卵人工種苗の活用)

## 【H31年度取組方向】

### バージョンアップのポイント

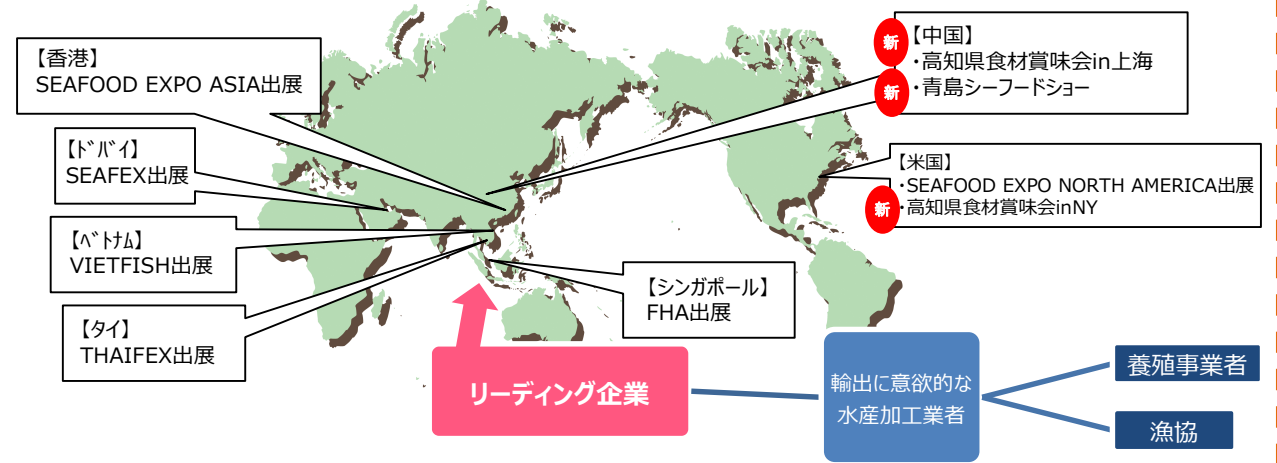
### 1 本県の水産物輸出事業のけん引役である「高知県養殖魚輸出促進協議会」が事業目的を「養殖魚」のみから「養殖魚を中心とする水産物」に拡充

販路開拓の対象魚種を「養殖魚を中心とする水産物」に拡充することにより、当面のターゲット市場であるアジアで好評な天然魚も含めた本県の水産物の特徴である多種多様な水産物をPRするとともに、海外顧客の裾野を拡大



### 2 産地での生産・加工<川上>から海外への外商<川下>まで連携した、リーディング企業による有望市場における販路拡大への重点的な支援

- ターゲット国の求める施設登録等の要件を備え、これまでの海外販路開拓の結果、一定の顧客(商流含む)を得、海外ニーズに合う商品開発等にも意欲的な事業者(以下「リーディング企業」と呼称)の動きを重点的に支援することで、リーディング企業の商品のみならず協力関係にある県内事業者の商品の販路開拓を推進
- 海外見本市での出展時はもちろん、その後のアフターフォローについても支援対象とすることで、より緊密な販路開拓を推進



### 【有望(重点)地域】ベトナム・シンガポール・香港・タイ・ドバイ・米国 新 中国(上海・青島)

### 3 海外HACCP認定取得の推進・事前の水産施設登録制度の周知、各国ニーズに合う商品開発支援

- ① HACCP導入のための専門家によるコンサルティング
  - ② HACCP認定取得のための審査手続きの負担軽減
- ※①大日本水産会の「HACCP認定加速化支援事業」を活用。補助率：1/2  
 ※②同会の「水産食品加工施設HACCP」(FDA HACCP相当)認定受審経費を補助。補助率：定額

## ≪H31 県水産振興部の体制≫

